

## 1冊の本から考えること

5月に入り、新緑がとてもきれいです。また、たいへん過ごしやすい日々が続いています。昨年までの5月ですと、多くの学校行事があり、子どもたちの笑顔があふれている光景が多く見られました。ただ、今年は違います。

正直、私も毎日心が晴れない日々を送っています。学校も子どもたちの姿が見られなくなってから3カ月目に入ります。本当に寂しいことですし、子どもたちがどのような気持ちで日々を過ごしているのか考えるといたたまれない気持ちにもなります。

私ごとですが、1冊の本を購入しました。書名はイタリア・ミラノの校長であるドメニコ・スキラーチェ先生の『『これから』の時代を生きる君たちへ』です。みなさんもお存知の方が多くいらっしゃると思います。一部、印象に残った部分を紹介します。

冷静さを保ち、群集心理に惑わされないでください。必要な予防策をとって、いつも通りの生活をしてください。(略) 見えない敵がいたるところにて、いつ襲われるかわからないという恐怖にとらわれたとき、私たちは本能的に、同じ人間をむやみに脅威に感じたり、攻撃の対象とを感じるものです。(略)

また、ドメニコ・スキラーチェ先生は日本の高校生にもメッセージを送っています。

(略) Someday This Pain Will Be Useful To You (この痛みはいつかみなさんの財産になるでしょう) (略)

この本を読み、私も反省すべき点をたくさん自覚しました。道端で誰かが咳やくしゃみをするとうる不安に思う自分がいます。人を見ると、不安にかられる自分がいます。その他、言葉では表せないものもあります。

今度、上里小学校の子どもたち全員に会うときは、何事も前向きに考えて、子どもたちに笑顔で接していきたいと思います。

臨時休業中で、普段とは違った生活をされている方もたくさんいらっしゃると思います。健康に気をつけてお過ごしただけならと存じます。今月も上里小学校にご支援をお願いいたします。